

知っていますか

のりたけかずお
詩人 則武三雄



則武三雄（本名・一雄）は、1909（明治42）年米子に産まれた。生家は、米子市内・現在の本通商店街で時計と自転車商を営んでいた。母方の曾祖父は、火野葦平「蛇体新助」のモデル・山本新吉である。

1928（昭和3）年19歳の時、朝鮮の新義州に渡り、日本敗戦の時までの17年間を朝鮮の地で過ごした。この時代に詩人白石（ペクソク）、画家・金煥基（キム・ファンギ）、李仲燮（イ・ジュンソプ）などの多くの無名のモダニストたちと交流した。白石、金煥基、李仲燮とも現在の韓国で大変高い評価を受けている人たちである。

日本の敗戦後、生涯の師であった三好達治に誘われ福井に移住。福井県立図書館に勤める傍ら北荘文庫を創設し、自ら出版活動をはじめ、多くの文学者を育てた。この功績が認められ、昭和39年に福井県文化賞、昭和61年には文部大臣表彰を受賞した。平成21年は、則武三雄の生誕100周年にあたり、鳥取県立図書館でも特別資料展が開催された。今回の展示では、米子市立図書館所蔵資料と、県立図書館提供の写真パネルをもとに、則武三雄の生涯を紹介します。

会期／平成22年1月5日（火）より3月30日（火）まで
場所／米子市立図書館1階フロア

米子市立図書館

米子市中町8番地ハピネライフケア文化広場

TEL 0859-22-2612

【協力：鳥取県立図書館】